

松戸市^{とじょう}戸定歴史館 展示予定 令和7年度

〒271-0092 松戸市松戸714-1 Tel047-362-2050

通常展Ⅱ（前年度から継続）

「暦と調度― 春から夏の戸定邸」

会期 令和7年3月20日（木・祝）～6月6日（金）
【途中、一部資料の展示替えを行いながら実施します】

戸定歴史館が所蔵する数千点の歴史資料のなかから、春から夏にかけての調度品を選んで展示します。展覧会が始まる3月下旬のサクラの開花シーズンから、風薫る5月下旬まで、戸定が丘の自然とあわせて季節を感じられる展覧会です。

連携特別展

「まつど×とくがわ
― 昭武・武定の生きた明治・大正・昭和」

会期 令和7年7月12日（土）～8月31日（日）

水戸徳川家11代当主の徳川昭武は、隠居後、松戸の戸定が丘に私邸（戸定邸）を建設し、明治17年（1884）に移り住みます。昭武・武定（昭武2男、松戸徳川家初代当主）をはじめとする戸定邸の人びとは、周辺地域と関わりながら、新しい環境での生活を営みました。

本展では、戸定歴史館・松戸市立博物館の2館が連携し、それぞれの所蔵資料と視点で、戸定邸を取り巻く松戸市域の明治・大正・昭和を見つめ直します。小学生を中心に、子どもから大人まで「まつど」に親しんでいただける展覧会です。また、スタンプラリーや絵本の読み聞かせなどの関連イベントも予定しています。

通常展Ⅰ

「万博・博 ―1867 パリから、はじまる―」

会期 令和7年10月4日（土）～令和8年1月12日（月・祝）

徳川昭武が日本の代表として参加した1867年パリ万国博覧会は、日本の国際デビューのきっかけとなりました。昭武と共に渡欧した渋沢栄一ら万博経験者は、明治維新後の近代日本を牽引する役割を果たしました。今回の展覧会では、昭武と、彼の教育責任者としてパリ万博に随行し、後に美術・博覧会行政の中心となった山高信離の視点から、1867年から1900年までの10回におよぶ万博を紹介します。

通常展Ⅱ

「お初にお目にかかります —大集合!初めて展示される資料たち—」

会期 令和8年2月14日(土)～5月31日(日)

戸定歴史館では開館以来、徳川昭武とその一族に関わる資料を収集し、調査・研究を進めてきました。その成果は、これまでに開催した展覧会や作成した図録などにて発表しています。しかし、調査・研究によって歴史的な価値が認められながらも、展覧会でお披露目できていない資料も多くあります。また、新たに収集した貴重な資料も少なくありません。本展覧会では、これらの資料に焦点をあて、初めて展示される資料を中心にご紹介します。